

中学生・赤ちゃん交流実施アンケート・感想

本当にありがとうございました。生徒からの感想にもありましたが、この企画はお母様のご理解と赤ちゃんの協力無しではできないものでした。本当に感謝申し上げます。来年以降も「生命教育」は学校と連携しながら、ぜひ進めていきたいと考えております。今回の交流に關しまして、お気づきの点がありましたら、小さなことでもかまいませんので、感想としてご意見くだされば幸いに存じます。(子育て支援スタッフに後日お渡しください。)

アンケート

1. なぜ赤ちゃんボランティアに参加しようと思いましたか？【複数回答可】

- ①面白そうだから ②中学校にいつてみたかったから ③友達に誘われて
④なんとなく

【その他

】

2. 赤ちゃんボランティアでを実際にしてみてどんな感想を持ちましたか？【複数回答可】

- ①楽しかった ②中学生が怖かった ③中学生がやさしいと感じた
④どう対応していいかわからなかった ⑤不安だった

【その他

】

3. このような企画をどう思うか

- ①ぜひやるべき ②やったほうがいいと思うけれどボランティアはもうしたくない
③やるべきではない

感想

最初は生徒がどういうリアクションあるかし思っていました。段々とよくなって、ちゃんとあやしてくれて、私はすごく果でした。おもちゃも、それぞれ個性的で、子供たちも、今でもあそんでいます。生徒も表情も最初は固かったけど、みんなやさしい表情になって、悪い子はわりじゃはいって思いました。私の子供にもすごくためになったような気がしました。私も、気分転換になって、すごく楽しかったです。

ご意見・ご要望

「赤ちゃん交流会」は、すごくいい企画だと思いました。これから少子化の時代なので、もっとこういう企画は大事だと思いました。中学生だけでなく、高校生にも、交流会があったらいいと思います。赤ちゃんだけでなく、1〜3歳ぐらいの子とあそぶ事も、これから、ためになると思います。色んな交流会があれば、私は参加したいです。お母さんたちにも気分転換になって、楽しいと思います。なるべく早く実施してほしいです。よろしくお願ひします。

「親」と「子ども」の距離とバランス

子どもが赤ちゃんの頃は、言葉ではいえない信頼関係がお互いにあります。ママのお腹の中で約10ヶ月過ごす子どもは、誰よりもママの行動は知っているし、ママも変わっていく自分の体と共に見えない赤ちゃんとの絆を強めていきます。生まれてきたばかりの赤ちゃんはまだ目は見えていないけれど、いつも一緒にいたママの声を認識し、聞きなれた心臓の音で安心して腕の中で眠ります。それこそ、子どものことは、お尻の穴のはてまで絶対的になんだから知っている関係にありました。でも成長が進み、幼稚園等に行きだした頃から、離れている時間が増え、それと同時にすこしずつわからないことも増えていきます。小学生になったら、ひとりで近所のお友達の家に行ったり活動範囲もぐーんと広がります。さらには、自転車という武器を自由に操れるようになったとき、子どもたちは近くのエリアから更に範囲を拡大し、町内デビューを果たします。高学年になると、今まで一緒に入っていたお風呂もひとりで入りたがります。中学生になると思春期の難しさも手伝ってもっとわからなくなります。だんだんと、距離は遠くなって何をしているか、わからないことばかりです。そして、親は、必要以上に心配をするあまり、毎日毎日、小言を言いすぎてすれちがってしまうこともしばしば。

今年の4月から娘が進学のため、親元から離れて暮らすようになりました。そうすると、本当に見えない不安ばかりです。15歳の子もだから…といつも思います。でも遅かれ早かれ、親もそうであったように、いつかは必ず子どもは親から巣立ちます。離れた先では、自分たちもいろいろな出会いの中で、間違っただけで方向にいてしまいそうなこともあったはず。でも、信用してくれる親だけは裏切れないという絆が、過ちの一線を踏みとどませたという経験は、大なり小なり持っているのではないのでしょうか？たぶん、そこにあったのは自分のことを信用してくれているという親との信頼関係だったと思います。信用されているという実感があれば、自分に自信を持ち責任を持てます。逆に親からも信用されていなければ、ひとを信頼できず、思いとどまる盾がないため、好き勝手できる状況をつくります。子どもとの信頼関係をもつ近道は、まず、自分が子どもを信用することだと最近本当に思います。でも、それは口を出したり手をだしたりするより、親として一番難度は高いとも感じるこの頃。

子どもが成長するにつれ、親と子どもとの距離は「見えているから信用できる」ではなく「見えていなくても信用できる」に親自身も変化していく必要があると思います。小さな頃から、いつかは巣立つことを視野に入れた躰を心がけたいものです。

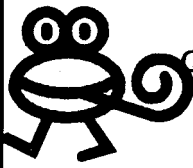
さわやかな6月…とはじまる予定でしたが、なんだか毎日、雨ばかりで気持ちまでどんよりとしてきます。運動会も延期になったり寒かったりと本当に大変！！こんなときに体調はくずしやすいものです。風邪なんかにかからないよう充分気をつけてください。7月は、朝、目が覚めるようなお天気のいい日が続きますように……。

梅雨とは・・・

梅雨とは、6月から7月中旬にかけてみられる雨期のことですが、中国から「梅雨(ばいう)」として伝わり、江戸時代頃より「つゆ」と呼ばれるようになりました。

もともと中国では、カビの生えやすい時期の雨ということで「霉(かび)雨」と書いて「ばいう」と書いていたが、季節に合った梅の字を使い梅雨になった説と、「梅の熟す時期の雨」で初めから梅雨だったという説があります。

日本で「つゆ」と呼ばれるようになった由来は、「露」からと考えられていますが、はっきりした由来はわかっていません。それにしても、雨ばかりはきついですね！



Q 北海道に梅雨はない？！

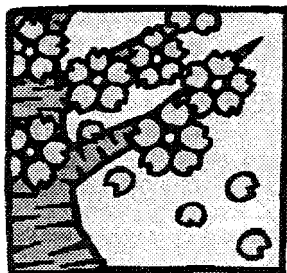
A 正確に言うと「えぞ梅雨」という現象があります。ただ梅雨前線の北上速度が北の方ではスピードアップするため期間が短く、梅雨がないと言われていました。

編集後記

実は、留学していた息子が先日帰って来ました。一生分悩んで子どもを信用し決めたアメリカ。ところが、話題は韓国。話す言葉も韓国語。部屋から聞こえるBGMも韓国語。それをもって、見せてくれた集合写真、明らかに外国人とわかる子は2人だけ。韓国最高、友達に会いに行きたいという始末。うーん。いったいどこに留学してたんだろう？？もしかしたら、留学先は韓国だったのではと最近思う日々。「実はね…」といわれたら、そっこのほうが信じられるっつーの？？信用とかえらそんなこと言っても、親としては、こんなもんです。ほんとに、心配！

みんなの学童版

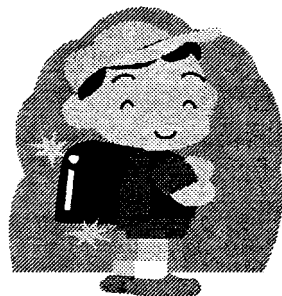
ご入園・ご入学おめでとうございます!!



この季節、列をつかって歩く園児たちと、黄色の交通安全カバーのかかったランドセルを重そうにせおった新1年生の姿を見ると、かわいくって思わず微笑みがこぼれます。

子どもの成長に目を細めている反面、行動範囲が大きくなるこれからの不安も抱えていらっしゃるのでは?と余計な心配もします。

いたずらや、悪いことや、怒られたりほめられたいしながら、経験を積み重ねて、子どもたちもまた、私たち大人が歩んできた道を歩いてきます。時には正面から、そして時には片目をつぶって、ゆっくりと、すばやく、今まで以上にたっぴりと愛情をそそいで、お子さんを見守ってあげてください。本当におめでとうございます。



編集後記

4月の巣立ちのこの季節、我が家もとうとう子どもたちが単立ち夫婦だけの生活に逆戻りです。あっ違いました。目に入れても痛くないほど可愛い犬との2人+1の生活です。子どもたちも新たなスタート地点だけど、よく考えてみれば私たちも新たなスタート地点に立たされてしまっていたのです。あら、子どもの成長との追いかけて、パパとママではいたけれど、あんまり夫婦という立場を考えたことはなかったような…。どうしよう?…ではなくて、これから私たちも共に白髪がはえるまで、コミュニケーションと続け、仲良くやるのがやっぱり基本??子育て中の家庭が大変とは思いつつ、ちよっぴりうらやましくもあるこの頃です。子どもの成長は本当に早いですよ!!

子どもたちの社会性について

最近、子どもたちのコミュニティ力や社会性がなくなっていることが問題となり指摘されていますが、その半面でアンケート結果では、多くの親は子どもに社会性を身に付けたいと思っていることがわかりました。

しかし、親たちが社会性がある生き方をしているかといわれれば、実際のところ疑問です。携帯電話の個人所有により、かける時間帯等についても相手の家庭への配慮がいらぬことや、知恵を持った人に教えてもらいながら調べる必要のあったことが会話がなくてもインターネットで簡単にわかったりと、パソコンが生活の中の必需品になっている現代社会においては、人とかかわりを持たなくても充分生活できるようになっていることが事実だからです。

一昔前は、向こう3軒両隣と言われ、おすそわけや、井戸端会議も盛んに行われていました。しかし、現在は隣に住んでいる人もわからず、また町内会にさえ所属しない人が増え、大人がマイペースで自由に生きています。それは、確かにかかわることのわずらわしさから開放され、ある意味すこしやすい社会ともいえるかもしれませんが、大人たちが個人個人に好きな生き方を選択した結果が、子どもたちが地域社会で社会性をもてずに育っていることにつながっているともいえるのではないのでしょうか? 隣近所が協力しあっていたころは、貧しい時代でそうしなければ暮らしが成り立たなかった時代です。今は環境的にも、物質的にも恵まれています。経済的な豊かさと利便さ・快適さを得たことによって人と関るコミュニケーション能力を奪ってしまったように感じます。失ってしまった大切なものを、今本当に見つめなおす必要があります。

最近では中標津町においても不審者情報等の物騒な事件もあり、確かに人に対する警戒心も教えていかなければならないことは事実ですが、でもその前に、地域には安心できる、親しい人がたくさんいるということ教えるため、親が豊かな付き合いをすることを心がけることが大切です。親がコミュニケーションできなければ、子どもに社会性を身につけさせるのは不可能です。親が地域や社会の中で人に親切にしたりされたり、挨拶を交わしている姿を見せること、そして地域と一緒にすべての子どもたちを見守っていこうとする気持ちをみんなで持つことが、すべての大人に要求されているような気がしています。

子育て支援総合相談窓口

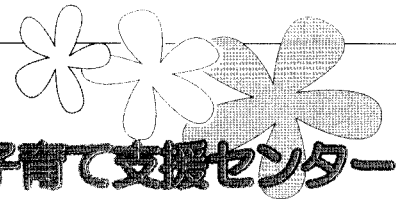
「今、中標津では子育てに関わるどんな事業をしているの？」
 「転入してきたばかりで困ってしまうことばかり・・・」
 などなど、子育ての悩みはつきるものではありません。
 子育て総合コーディネーターの役割を依頼する窓口を開設していますので、どうぞお気軽にお越しください。
 また、中標津町では子育てに関する悩みが解消できない子育て支援虐待防止ネットワークも運営しています。

★中標津町役場福祉課 子育て支援課 子育て支援係 中標津町 子育て支援センター

アウトドアで楽しむ ひろば **ぼぶぼぶくらぶ**

「お散歩や遊びを通して、子育ての悩みを解消し、子育て仲間を増やして、子育てを楽しみたい」というママたちの声に応え、中標津町子育て支援センターにて、アウトドアで楽しむひろば「ぼぶぼぶくらぶ」を開催しています。

★中標津町子育て支援センター 中標津町 子育て支援センター



児童館地域子育て支援センター

児童館では、毎週火曜日から土曜日の午前9時から午後5時までを小さな子どもたちが安心して遊ぶ場所として活用し、子育て支援センターとして開放しています。

また、遊びながら子育ての悩みを解消し、子育て仲間を増やして、子育てを楽しみたいというママたちの声に応え、中標津町子育て支援センターにて、アウトドアで楽しむひろば「ぼぶぼぶくらぶ」を開催しています。

- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター
- 子育て支援センター

中標津町子育て総合支援センター

平成18年4月から、中標津町子育て支援の発信基地として、総合センターをこの地区に児童館を開設しました。小さなお子様といっしょに、ママ様方が安心してリラックスできるスペースとしてご利用ください。「ひとりじゃ行きつらくって」と前向きに悩んでいるもの、だいじょうぶです。安心して相談できるようスタッフと一緒にサポートさせていただきます。

- ★利用時間 月～土曜日 午前10時～午後5時（お昼12時～1時お昼休み）
- ★休館日 日曜日・祝日・年末年始・特別な日

にこすくひろば 毎週月・火曜日 (10時～12時)

年齢設定がなく、自由に参加できる親子の交流ひろば

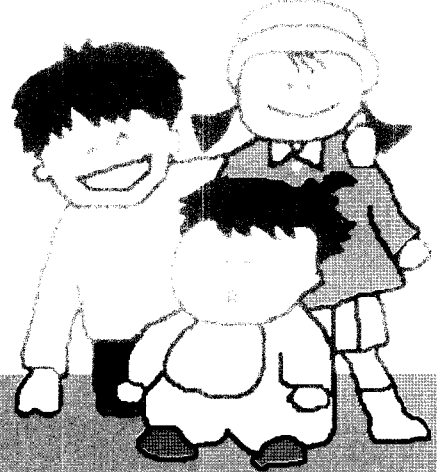
子育て個別相談 毎週水曜日

個別の相談日となります。申し込みは、電話にてお申し込みください。ただし、予約制ではありません。

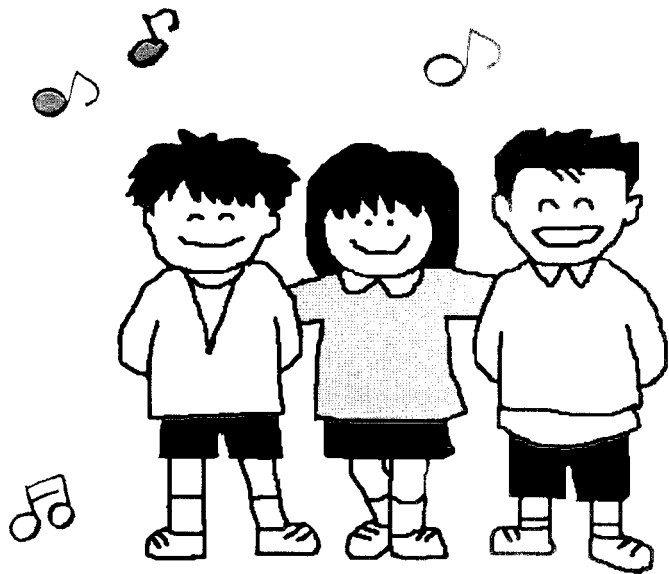
中標津町子育て総合支援センター 中標津町 子育て支援センター
 〒999-0101 中標津町中標津4丁目 電話：0115-74-2111

中標津町 子育て支援のご案内

子育てに関するお問い合わせは、中標津町子育て支援センターまで。中標津町子育て支援センターでは、子育てに関する悩みを解消し、子育て仲間を増やして、子育てを楽しみたいというママたちの声に応え、中標津町子育て支援センターにて、アウトドアで楽しむひろば「ぼぶぼぶくらぶ」を開催しています。



じどうかん



中標津町には6つの児童館があります。

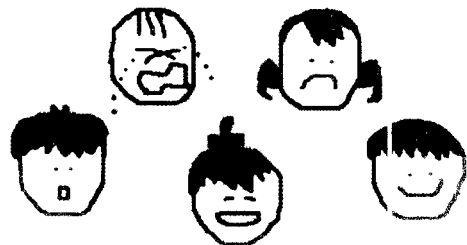
それぞれの地域の方たちとともに、子どもたちを見守り育てる場としてさまざまな活動をしています。
子どもたちが楽しい遊びや体験を通じて、新しい仲間とのやりこやかな心身を育てるための施設です。

つくろう！あそぼう！たのしもう！ふれあおう！



おともだちとあそぶ

ゲーム、下の句カルタ、オセロ、トランプ、ブロック、ドミノ、集算ゲーム、おあそびじま、けんぽ、ドッチボール、サッカー、キャクヘース、などなど



合同行事★イベント

じどうかん祭り、キャンプ、遠足、もちつき、ボランティア訪問、など

フォークダンス、世界、将棋、クラブ★教室

ハドン、手芸、ダンス、お料理、絵てがみ、いちりん車、木工芸、絵本、ハソコソノ

児童クラブ

中標津町では放課後、家に保護者が不在の児童が安全に過ごすことができるよう、児童クラブを各児童館に設置しています。登録申込が必要です。

★対象 小学校1年生～3年生

★開館時間 下校時～18時まで
土曜日、学校休業日は10時～18時

(休休みの利用もできます)
長期休業日は最大8時45分～18時

詳細につきましては、希望する児童館に直接お問い合わせください。



利用対象：幼児から中学生まで
(幼児は保護者同伴でお願いします)



利用時間：月曜日～金曜日 学校下校時～午後5時
土曜日、学校休業日 午前10時～午後5時
※土曜日の場合は、児童館の休館日となります。
※なお、児童の安全を守るため、児童館の閉館時刻は各児童館により異なります。



休業日：日曜日、祝日、年末年始、特設日

母親サークル

児童館を利用して、お母さんたちが趣味を生かした活動を通じ、自主的にサークル活動をして、子育てのお手伝いをしています。

- 手芸サークル 「ママさん」 西児童館 手芸教室指導 子どもたちに手づくりの楽しさを伝えます。
- 手づくり絵本サークル 「たんぼぼ」 東児童館 手づくり絵本教室指導 世界に一冊しかないオリジナル絵本づくり。
- 人形劇サークル 「ぞうのはな」 西児童館 楽しい人形劇の公演
- 手芸・ハッチワークサークル 「カントリーペア」 なかよし児童館 手芸教室指導 ハッチワーク、キルト製作

チャイルドアドバイザー

児童館では、豊かな人間性と創造性を育むことを目的に次世代を担う子どもたちの指導者としてチャイルドアドバイザーが活躍しています。

チャイルドアドバイザーは登録制です。特技・経験を持った町民の方々のボランティア活動をご指導いただいています。(詳細は子育て支援室までお問い合わせ下さい。)

・自然体験 ・フォークダンス ・ハドン ・将棋 ・手芸 ・絵てがみ ・民謡 ・剣舞 ・琴 ・フラワーアート など



中標津町役場

子育て支援室・子育て支援係
73-3111(内線231)

- ☆ 東児童会館 東8南3 73-2996
- ☆ 西児童会館 西5北3 72-3039
- ☆ なかよし児童会館 東14北4 73-5569
- ☆ わんはく児童会館 西町5-1 72-7273
- ☆ 計根別児童会館 北1東1 78-2539
- ☆ 中標津町子育て総合支援センター (にこにこ児童会館) 東37北4 73-1802